

北九州空港・旅客便に関する取組状況（行政視察関連）

1 現状

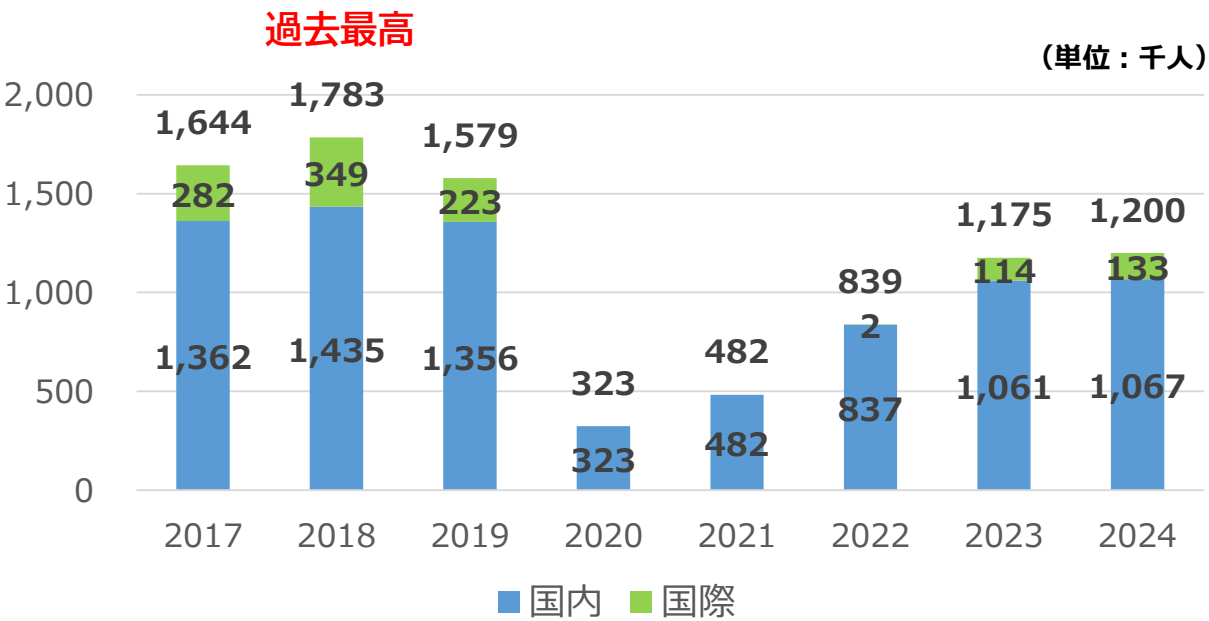
（1）路線誘致・利用促進体制

○北九州市は、福岡県とともに2025年度から2027年度の3ヶ年を「ネットワーク再構築推進期間」として設定し、苅田町等の空港圏域自治体とも連携して新規路線誘致や路線定着、利用促進等に取り組んでいる。

（2）定期路線の就航状況（2025年10月現在）

路 線		航空会社	運航頻度
国内線	東京（羽田）	日本航空	3往復／日
		スターフライヤー	11往復／日 ※一部非運航
国際線	ソウル（仁川）〔韓国〕	ジンエアー	1往復／日
	清州〔韓国〕	エアロK航空	3往復／週

（3）利用者数の推移



2 利用者層

(1) 国内線

【旅行目的】 (国土交通省・航空旅客動態調査を基に作成)

《北九州⇄羽田(平日)》



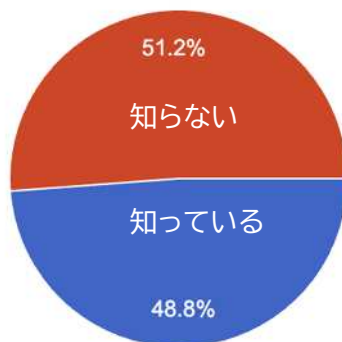
○コロナ禍を経てリモート環境が整ったこと等から、仕事での利用が減少
⇒観光客の取り込みが重要

(2) 国際線

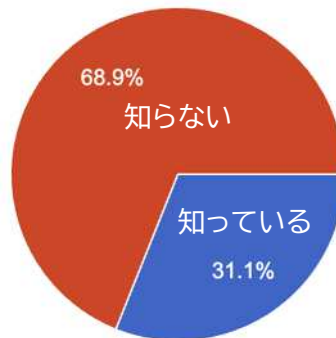
- 利用者は、韓国発(インバウンド)が大多数を占める
- 韓国からは、個人旅行者(FIT)が多い
- 日本からは、航空会社のHP等オンラインでの購入が多い

【参考：清州空港でのアンケート結果 ※2025. 8. 24-8. 30 実施】

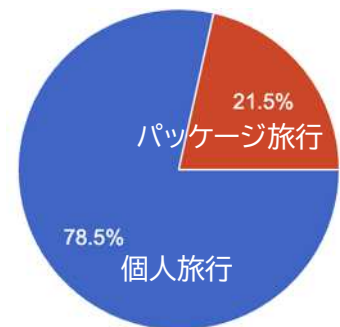
Q1 北九州市の認知度



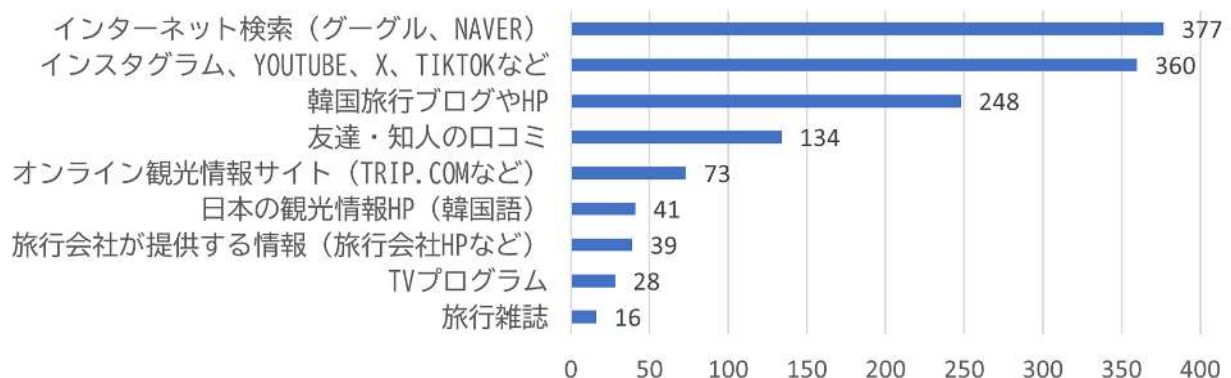
Q2 清州－北九州路線の認知度



Q3 北九州旅行経験者の旅行形態



Q4 日本旅行の情報収集先 ※複数回答



3 既存路線の維持・強化に向けた取組

(1) 空港アクセスの強化

- J R 朽網駅への特急停車、エアポートバスの増便 等

(2) 認知度向上

【就航先】

- 旅行会社に対する商品造成の働きかけ（国内・国際）
- 首都圏での企業、団体等ターゲットを絞った利用の働きかけ（国内）
- 航空会社HPや検索サイト、SNS、インフルエンサー等の活用（国際） 等

【北九州空港圏域】

- チラシ・ポスター、SNS、イベント出展等の各種PR（国内・国際）
- 他空港との競合地区の重点的広報（国内・国際）
- 企業・大学等の個別訪問（国内・国際） 等

(3) キャンペーン

【就航先】

- エアポートバス片道無料キャンペーン（空港発→朽網行き限定）（国際） 等

【北九州空港圏域】

- パスポート取得応援キャンペーン（国際）
- 空港駐車場2日間無料キャンペーン（国際） 等

4 路線誘致に係るインセンティブ

- 新規に就航した航空会社を対象に運航経費等の一部を補助
- 航空地上支援事業者（グランドハンドリング等）の人材確保に向けて、従業員の住居費及び職場環境改善に係る費用の一部を補助